

小学5年生と中学2年生を対象として実施した  
「令和4年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査」  
の体格と運動能力面の集約結果について

「実施時期」令和4年4月から7月

「体格」

小学5年男子については、身長、体重ともに全国平均値を上回っておりますが、軽度肥満傾向の児童の割合が全国平均値より3%以上高くなっております。標準的な体格の児童の割合が全国よりも3%以上となっており、バランスの取れた体格の児童が多いことがわかります。

小学5年女子については、身長、体重ともに全国平均値を上回っておりますが、軽度肥満傾向及び中度肥満傾向の児童の割合が全国平均値よりも高くなっております。

中学2年男子については、身長、体重ともに全国平均値を上回っておりますが、軽度肥満傾向及び高度肥満傾向の生徒の割合が全国平均値よりも高くなっております。

中学2年女子については、身長、体重ともに全国平均値を上回っておりますが、やせ型傾向生徒の割合が全国平均値より5%以上高く、対象生徒の体重増加が望まれません。

「運動能力」

小学5年男子は、8種目すべてにおいて全国平均値を下回っております。特に、50m走、反復横とびでは全国平均値をやや下回っており、疾走能力、敏捷性の向上が望まれます。

小学5年女子は、8種目中3種目で全国平均値を上回っております。反復横跳び、上体起こしでは全国平均値をやや下回っており、敏捷性、筋持久力の向上が望まれません。

中学2年男子については、8種目中6種目で全国平均値を上回っています。50m走、上体起こしでは全国平均値をやや下回っており、疾走能力、筋持久力の向上が望まれます。

中学2年女子については、8種目中7種目で全国平均値を上回っております。握力では全国平均値をやや下回っており、筋力の向上が望まれます。

令和3年度の結果と比較すると、小学校男女ともにやや低下しており、中学校男女はともに上回る結果となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、さまざまな制限を強いられた中ではありますが、各校において授業改善や体力向上のための工夫をした取組が行われていることが、今回の結果に繋がっていると考えられます。

町教育委員会としましても、今回の結果を受け、体力、運動能力及び運動習慣づけなど、より向上していくような取り組みを実施していきたいと思っております。